

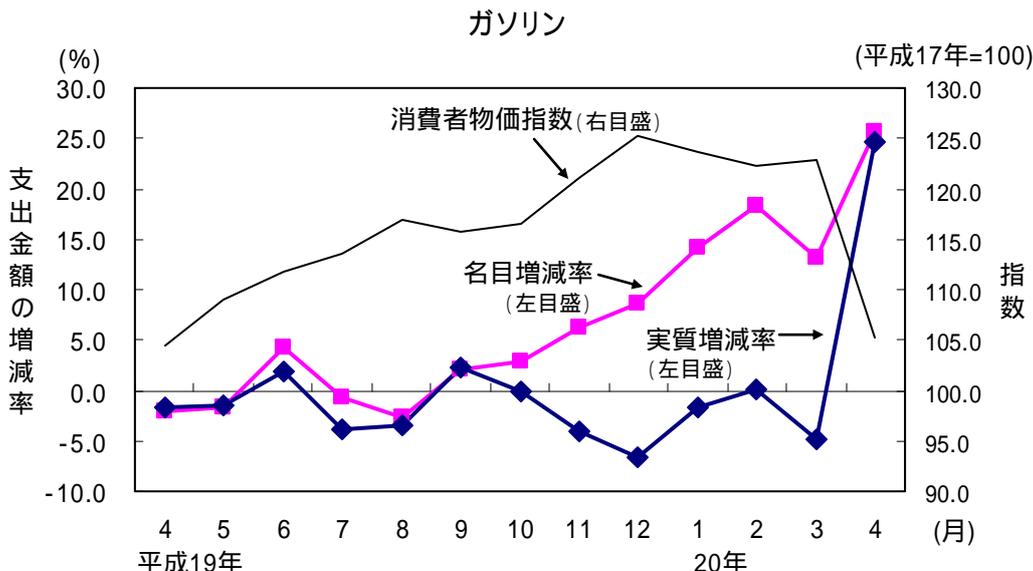
平成 20 年 5 月 30 日  
総務省統計局

## 原油関連品目の推移及び地方別支出金額

### 1 ガソリン

(1) 対前年同月増減率及び消費者物価指数の推移

平成 20 年 4 月は名目、実質共に増加となった。



	平成19年										平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	
名目増減率 (%)	-2.0	-1.7	4.3	-0.6	-2.6	2.0	2.9	6.2	8.7	14.2	18.4	13.2	25.6	
実質増減率 (%)	-1.7	-1.5	1.9	-3.8	-3.5	2.2	-0.1	-4.2	-6.6	-1.6	0.2	-4.9	24.7	
消費者物価指数	104.5	109.0	111.8	113.6	117.0	115.7	116.6	121.0	125.2	123.6	122.2	122.9	105.2	

(注) ガソリンの増減率の実質化には、消費者物価指数(ガソリン)を用いた。

(2) 地方別にみた平成 19 年 10 月 - 20 年 3 月期及び平成 20 年 4 月における支出金額

地方	平成19年10月 - 20年3月		平成20年4月	
	支出金額 (円)	全国平均に 対する倍率	支出金額 (円)	全国平均に 対する倍率
全国	38,186	1.0	6,896	1.0
北海道	40,234	1.1	6,531	0.9
東北	53,528	1.4	9,394	1.4
関東	32,098	0.8	6,079	0.9
北陸	49,800	1.3	9,802	1.4
東海	45,454	1.2	7,998	1.2
近畿	28,929	0.8	5,347	0.8
中国	42,766	1.1	7,746	1.1
四国	48,342	1.3	7,763	1.1
九州	42,631	1.1	7,329	1.1
沖縄	38,498	1.0	6,095	0.9

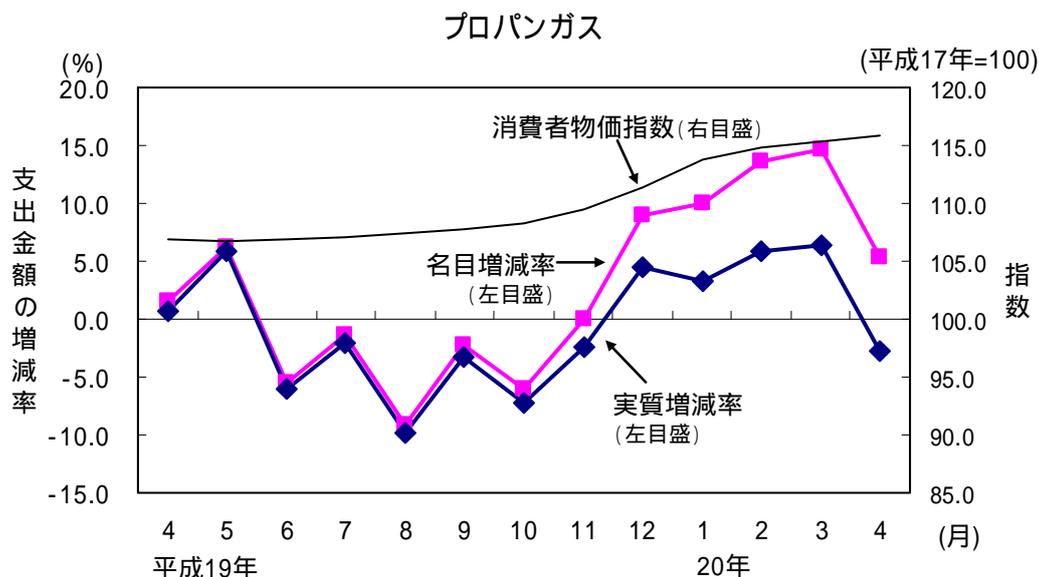
(注) 平成 19 年 10 月 - 20 年 3 月の支出金額は各月を合計したものである。



## 2 プロパンガス

### (1) 対前年同月増減率及び消費者物価指数の推移

平成20年4月は、前年と比べほぼ全国的に気温が高かったこともあり、実質で減少となった。



	平成19年										平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		1月	2月	3月	4月
名目増減率 (%)	1.5	6.2	-5.5	-1.4	-9.1	-2.3	-6.0	0.0	8.9		10.0	13.7	14.7	5.4
実質増減率 (%)	0.7	5.8	-6.0	-2.0	-9.8	-3.3	-7.3	-2.3	4.4		3.3	5.9	6.3	-2.8
消費者物価指数	106.9	106.8	106.9	107.0	107.4	107.7	108.3	109.4	111.4		113.8	114.8	115.3	115.9

(注) プロパンガスの増減率の実質化には、消費者物価指数(プロパンガス)を用いた。

### (2) 地方別にみた平成19年10月 - 20年4月期における支出金額

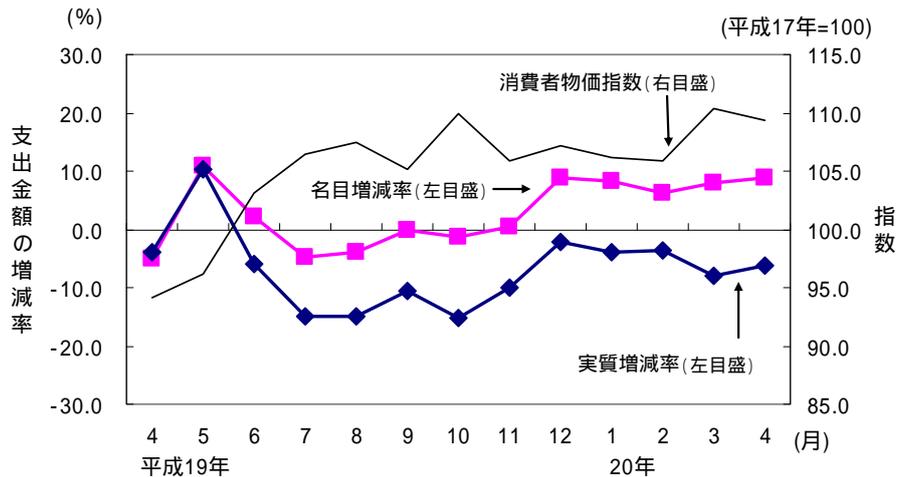
地方	平成19年10月 - 20年4月	
	支出金額 (円)	全国平均に対する倍率
全国	19,527	1.0
北海道	18,602	1.0
東北	25,100	1.3
関東	17,318	0.9
北陸	17,949	0.9
東海	27,346	1.4
近畿	11,711	0.6
中国	24,106	1.2
四国	26,422	1.4
九州	21,495	1.1
沖縄	31,655	1.6

(注) 支出金額は平成19年10月 - 20年4月の各月の合計である。

## 価格が上昇した主な品目の対前年同月増減率の推移

### マヨネーズ・ドレッシング

平成 20 年 4 月は、価格は前月より低下したものの、前月に引き続き実質減少となっている。

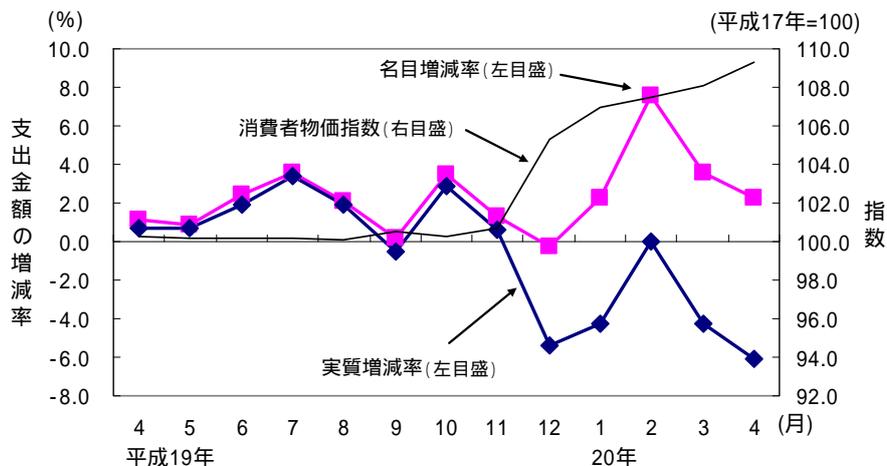


	平成19年												平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
名目増減率(%)	-5.1	10.8	2.1	-4.7	-3.9	0.0	-1.3	0.4	8.7	8.3	6.1	8.0	8.8			
実質増減率(%)	-3.8	10.2	-5.9	-14.8	-15.0	-10.5	-15.2	-10.1	-2.2	-3.8	-3.5	-8.1	-6.2			
消費者物価指数	94.2	96.1	103.1	106.4	107.4	105.2	110.0	105.9	107.2	106.1	105.8	110.3	109.3			

(注) マヨネーズ・ドレッシングの増減率の実質化には、消費者物価指数(マヨネーズ)を用いた。

### パン

平成 20 年 4 月は、価格が前月から更に上昇したことなどから、前月より減少幅が拡大し、2 か月連続の実質減少となっている。

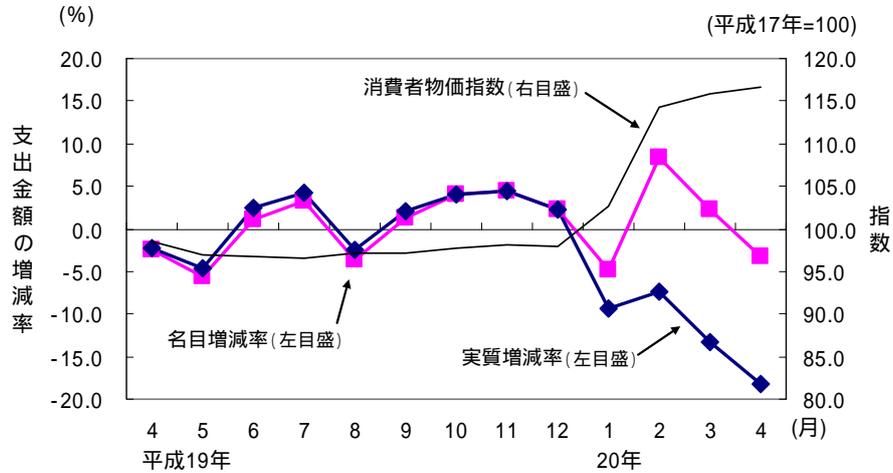


	平成19年												平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
名目増減率(%)	1.1	0.9	2.4	3.6	2.1	0.2	3.5	1.3	-0.3	2.3	7.6	3.6	2.3			
実質増減率(%)	0.7	0.7	1.9	3.4	1.9	-0.5	2.9	0.6	-5.4	-4.3	0.0	-4.3	-6.1			
消費者物価指数	100.3	100.2	100.2	100.2	100.1	100.5	100.3	100.7	105.3	107.0	107.5	108.1	109.3			

(注) パンの増減率の実質化には、消費者物価指数(パン)を用いた。

## カップめん

平成 20 年 4 月は、価格が前月から更に上昇したことなどから、前月より減少幅が拡大し、価格の上昇が始まった平成 20 年 1 月以降、4 か月連続の実質減少となっている。

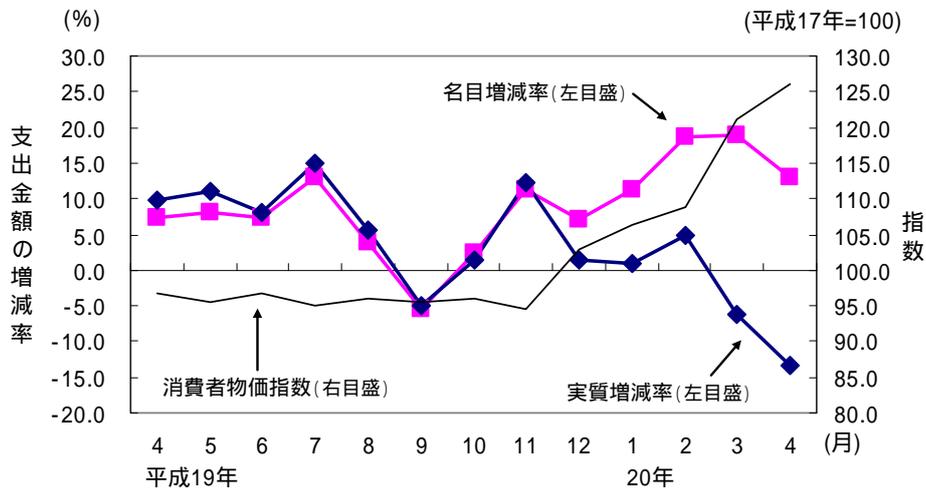


	平成19年												平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
名目増減率 (%)	-2.4	-5.6	1.0	3.2	-3.6	1.2	4.0	4.4	2.3	-4.8	8.3	2.2	-3.3			
実質増減率 (%)	-2.3	-4.6	2.5	4.2	-2.5	2.0	4.1	4.4	2.3	-9.4	-7.4	-13.3	-18.3			
消費者物価指数	98.5	97.0	96.8	96.6	97.1	97.1	97.8	98.2	97.9	102.6	114.2	115.8	116.6			

(注) カップめんの増減率の実質化には、消費者物価指数(即席めん)を用いた。

## スパゲッティ

平成 20 年 4 月は、価格が前月から更に上昇したことなどから、前月より減少幅が拡大し、2 か月連続の実質減少となっている。

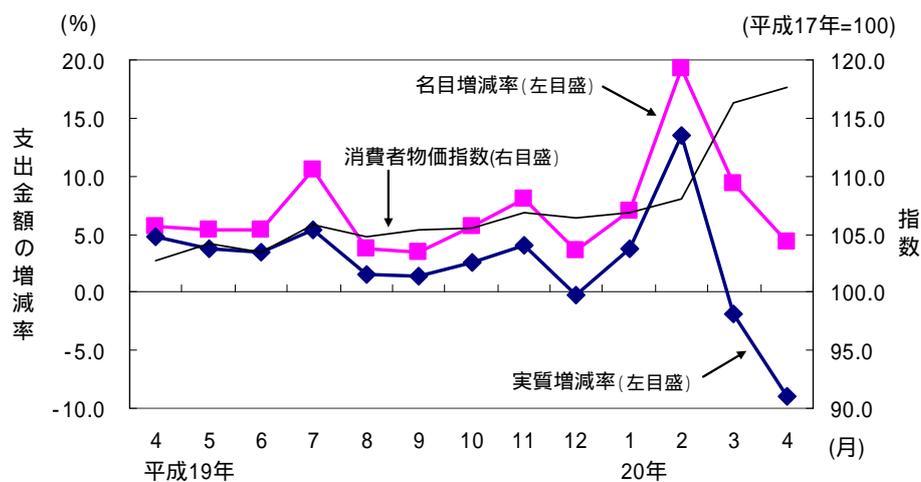


	平成19年												平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
名目増減率 (%)	7.4	8.0	7.3	12.9	3.9	-5.4	2.3	11.3	7.2	11.3	18.6	18.8	12.9			
実質増減率 (%)	9.8	11.0	8.2	15.0	5.5	-5.0	1.5	12.2	1.5	1.0	4.8	-6.2	-13.3			
消費者物価指数	96.8	95.4	96.7	95.0	96.0	95.4	96.0	94.6	103.0	106.3	108.7	121.2	126.0			

(注) スパゲッティの増減率の実質化には、消費者物価指数(スパゲッティ)を用いた。

## チーズ

平成 20 年 4 月は、価格が前月から更に上昇したことなどから、前月より減少幅が拡大し、2 か月連続の実質減少となっている。



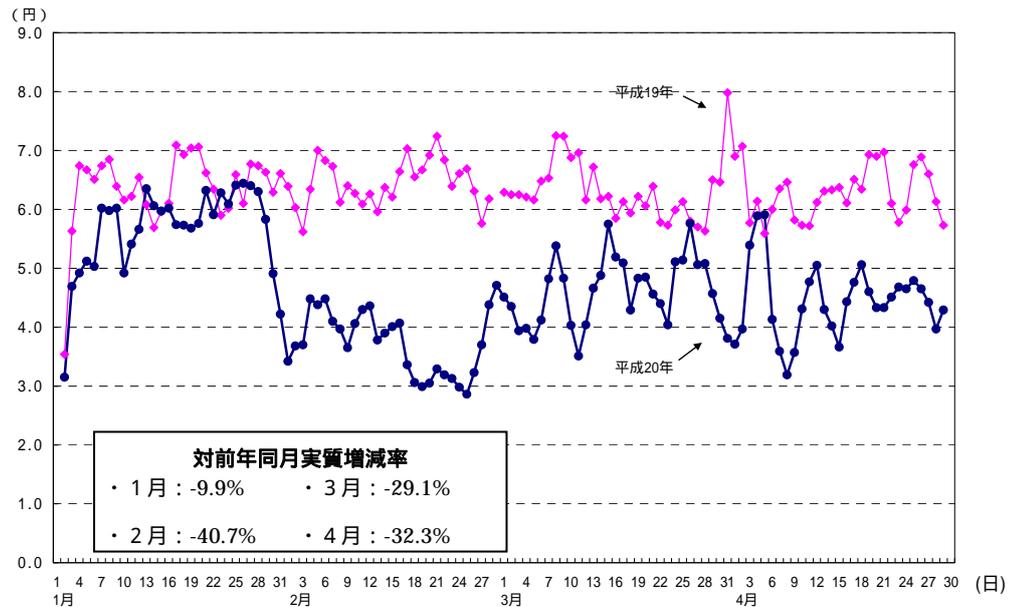
	平成19年												平成20年			
	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月			
名目増減率 (%)	5.7	5.4	5.4	10.5	3.7	3.5	5.7	8.0	3.6	7.0	19.2	9.4	4.3			
実質増減率 (%)	4.8	3.7	3.5	5.3	1.6	1.4	2.5	4.1	-0.2	3.8	13.5	-1.8	-9.0			
消費者物価指数	102.7	104.2	103.4	105.8	104.8	105.4	105.5	106.8	106.4	106.9	108.1	116.3	117.7			

(注) チーズの増減率の実質化には、消費者物価指数(チーズ及びチーズ(輸入品))を用いた。

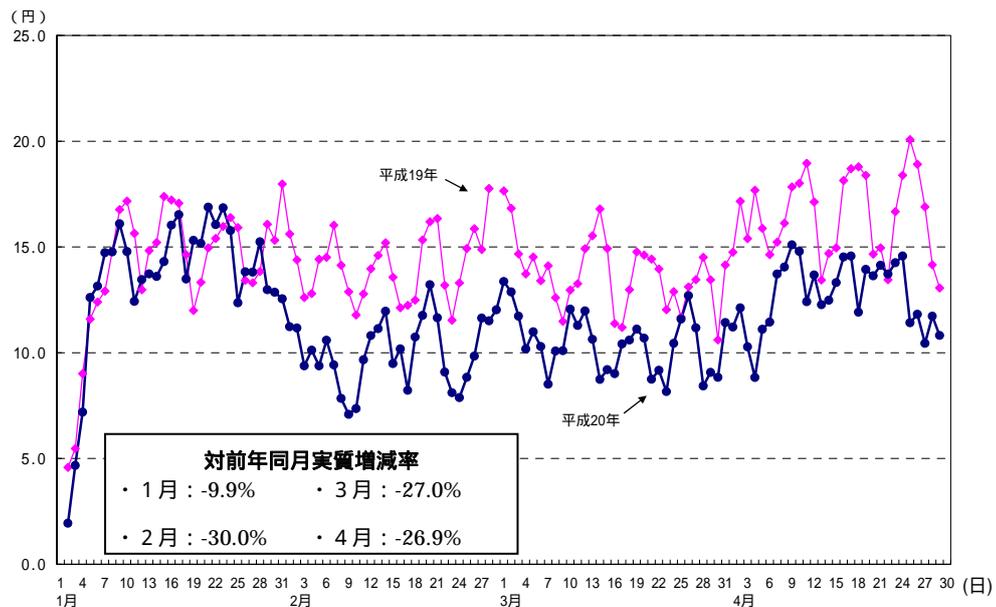
平成 20 年 5 月 30 日  
総務省統計局

## 中国産冷凍ぎょうざが原因と疑われる健康被害の発生が消費者の購入行動に影響したとみられる主な品目の動き

### 1 りょうざの支出金額の推移



### 2 冷凍調理食品の支出金額の推移



- (注) 1. 1の「ぎょうざ」とは、焼きぎょうざ、蒸しぎょうざ、水ぎょうざ、揚げぎょうざのほか、生も含む。ただし、冷凍品は「冷凍調理食品」に含まれている。  
2. 支出金額は、3日移動平均値である。

平成 20 年 5 月 30 日  
総務省統計局

## 固定資産税及び都市計画税の納付月変化の 影響等を除去した勤労者世帯の収支（試算）

表 2 収支の内訳（平成20年 4 月 - 二人以上の世帯のうち勤労者世帯）

項 目	金 額 (円)	対前年同月増減率(%)		実質増減 率への 寄与度 (%)	備 考
		名 目	実 質		
非消費支出	83,707	14.8	-	-	11か月連続の増加
可処分所得	386,067	-3.4	-4.4	-	6か月連続の実質減少
平均消費性向(%)	89.0	(前年同月) (ポイント差) 85.7 3.3			季節調整値で見ると、75.4%で、前月に比べ、3.1ポイントの上昇となった。

注 非消費支出のうち、「他の税」に含まれる固定資産税及び都市計画税の納期は地方税法で、4月、7月、12月及び2月中において、条例で定めることとなっている。また、いずれかの納期において、その全額を徴収することができることから、4月は同税を全額で納付することもできる。ただし、特別の事情がある場合においては、上記と異なる納期を定めることができ、都及び市町村によっては納期が異なることがある。これらのことから、4月は「他の税」の額が大きく変動することがある。

そこで、平成 20 年 4 月の他の税の額を前年同月の額に置き換えて、非消費支出、可処分所得及び平均消費性向を試算した。

推測される 4 月の消費支出及び勤労世帯の収支増減の要因

項目	実質増減率 (%)	天候要因		曜日・休日要因		税・社会保険料の変化	揮発油税及び地方道路税に関する税率の特例の適用期限の経過及び延長	中国産冷凍ぎょうざが原因と疑われる健康被害の発生
		降水量の増加	気温の上昇	休日日数 前年より1日減	3連休の影響 前年有 今年無			
二人以上の世帯	食料	-3.1						
	外食	-6.6	減少		減少			
	調理食品	-8.9						減少
	光熱・水道	-0.9						
	プロパンガス	-2.8		減少				
	灯油	-10.8		減少				
	被服及び履物	-4.1	減少		減少			
	交通・通信	2.3						
	ガソリン	24.7						増加
	教養娯楽	5.0						
国内パック旅行	* -10.1				減少			
うち勤労者世帯	非消費支出	* 21.3					定率減税の廃止(及び税源移譲)による個人住民税の増加、固定資産税など <sup>注3</sup> の増加、社会保険料の増加	
	可処分所得	-5.4					非消費支出の増加などによる減少	
	平均消費性向	** 4.4					可処分所得の減少による上昇	

注 1 \* 印は対前年同月名目増減率を示す。

注 2 \*\* 印は対前年同月ポイント差を示す。

注 3 非消費支出のうち、「他の税」に含まれる固定資産税及び都市計画税の納期は地方税法で、4月、7月、12月及び2月中において、条例で定めることとなっている。また、いずれかの納期において、その全額を徴収することができることとされていることから、4月は同税を全額で納付することもできる。ただし、特別の事情がある場合においては、上記と異なる納期を定めることができ、都及び市町村によっては納期が異なることがある。これらのことから、4月は「他の税」の額が大きく変動することがある。